

航空機操縦士養成連絡協議会

技量向上ワーキンググループ

平成28年度とりまとめ

1. 平成28年度におけるワーキンググループ開催実績

第7回 平成29年3月21日(火) (書面開催)

(議事) (1)操縦技量等フィードバック会議について

(2)平成28年度技量向上ワーキンググループ取りまとめについて

2. ワーキンググループ構成員

別紙のとおり

3. 平成28年度における取組み

民間養成機関を修了し航空会社に就職した操縦士の訓練等において見受けられる操縦技量上の改善点等について、航空会社から民間養成機関へフィードバックすることにより、民間養成機関における操縦訓練の質の向上及び航空会社のニーズに応じた人材の養成を実現することを目的とした、操縦技量等フィードバック会議を設置、開催した。

フィードバックされた情報を踏まえ、民間養成機関において取り組まれる事項等についても当会議を活用して情報共有していくこととされた。

こうしたフィードバックや情報共有を行うことにより、民間養成機関における教育の向上、航空会社のニーズの把握とそれを踏まえた人材育成、様々な情報が共有されることにより個々の養成機関では顕在化していない問題への早期対応等、様々な効果が期待される。

(操縦技量等フィードバック会議について)

○事務局・メンバー

- ・事務局：(公社)日本航空機操縦士協会
- ・メンバー：航空会社、民間養成機関、航空大学校
- ・オブザーバー：航空局

○第1回操縦技量等フィードバック会議（平成28年10月21日）

・現状と課題について

航空会社から養成機関へ下記事項について情報を共有

- 1) 特に不足していると感じられる技量
- 2) 技量不足を補うため航空会社において実施している訓練の概要と効果
- 3) 養成機関での訓練に対する要望等

○第2回操縦技量等フィードバック会議（平成29年2月14日）

・航空会社の要望等における養成機関の現状の取組状況等について

第1回フィードバック会議における課題等について養成機関の取組及び課題等の情報を共有

- 1) 技量・知識について
- 2) 姿勢・態度に係る教育について
- 3) 訓練状況について
- 4) 訓練以外の取組について
- 5) 航空会社等に対する要望等

4. 今後の取組み

操縦技量等フィードバック会議の開催

操縦技量等フィードバック会議を引き続き開催し、民間養成機関における教育の向上及び航空会社のニーズを踏まえた人材育成等が図られるよう、様々な情報共有に努める。特に、平成29年度はこれまでの意見から、何か対応できるものがないか議論を進め、その実行を目指していくための話し合いを行う。

5. 平成29年度以降の進め方

(1) 技量向上ワーキンググループについて

技量向上ワーキンググループは、平成29年度以降も存続する。ただし、ワーキンググループは、事務局が開催する必要があると判断した場合に開催するものとする。

<<添付資料>>

- ・技量向上ワーキンググループ平成28年度とりまとめ参考資料
- ・技量向上ワーキンググループ構成員名簿